

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	西崎 有多子	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
教育実習ならびに将来小学校現場で活用できる小学校英語指導法を教材研究をととして研究する。卒業研究のテーマ、研究計画を熟慮し、一人ひとりで進めていく。			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	模擬授業を中心として、小学校英語指導法を具体的に研究する。授業の目標の明確化、教材研究、指導案、評価等、一連の流れを踏まえた指導について、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションとしての模擬授業等、アクティブ・ラーニングを活用する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ゼミの進め方と卒業研究	1年間を通してのゼミと各自の卒業研究の進め方について確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	絵本を使った教材研究 と模擬授業	多くの英語絵本に触れ、英語絵本の有効活用を考える。簡単な英語絵本を作成する。	<input type="checkbox"/>
第3回	学外演習を行なう	ゼミ学生の希望の場所へ学外活動として出かける。	<input type="checkbox"/>
第4回	卒業研究の研究テーマ・展開・研究方法	各自、卒業研究のテーマ・展開・研究方法を決めて発表、意見交換を行う。	<input type="checkbox"/>
第5回	研究計画、研究方法の決定、先行研究の探し方	研究計画、研究方法、先行研究について具体的に理解し、進めていく。	<input type="checkbox"/>
第6回	卒業論文の書き方、注意事項	卒業論文の書き方を確認する。	<input type="checkbox"/>
第7回	先行研究についての発表	先行研究を集めて読み、分かったことを発表し合う。資料をどのように使うかを確認する。	<input type="checkbox"/>
第8回	歌、ジャズチャンツを使った教材研究 と模擬授業 板書の練習(1)	歌、ジャズチャンツをつかったの指導計画を立て、指導案を発表する。板書の練習を行なう。	<input type="checkbox"/>
第9回	ゲーム、TPRを使った教材研究 と模擬授業	ゲーム、体を使って理解を表現する授業計画を立て、指導案を書いて模擬授業を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	他教科との関連を使った教材研究 と模擬授業	英語以外の教科内容との組み合わせの可能性を考え、授業計画を立てる。	<input type="checkbox"/>
第11回	研究の進捗状況発表(1)、卒業論文の準備(1)	卒業研究の進捗状況を発表し合い、進捗を確認する。推敲の方法を確認する。	<input type="checkbox"/>
第12回	デジタル教材と模擬授業 実習のための教材作成	デジタル教材の理解を深め、模擬授業を行う。ピクチャーカード等の教材を作成する。	<input type="checkbox"/>
第13回	実習担当学年の英語教材研究 と模擬授業(1)	実習担当学年の授業を計画し、模擬授業をおこなう。	<input type="checkbox"/>
第14回	実習担当学年の英語教材研究 と模擬授業(2)	実習担当学年の授業を計画し、模擬授業をおこなう。	<input type="checkbox"/>
第15回	研究の進捗状況発表(2)、卒業論文の準備(2)	研究の進捗状況確認と夏休みに向けての研究計画を発表する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)	
授業前に各自で2時間程度、教材や資料を読み込み、授業内で発表できる準備をする。授業後に各自で2時間程度、授業内容を振り返り、疑問点がないか確認する。授業で学んだ教材の活用方法を考え、次の授業でディスカッションできる準備をする。	

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

作成した教材を模擬授業等として発表し、ディスカッション等を通して教育効果を検証する。卒業研究の進捗を確認しながら、その都度チェック・書き直しをしながら、ペースを保って進めていく。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	卒業研究の方法が理解できる。英語教材の活用法を説明できる。小学校英語の指導案を工夫して書くことができ、模擬授業を行ない、改善することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	卒業研究に向けて資料を探し、具体的な活用の方法を考えることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内小テストと提出物 40%、実技と発表 60%

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	文部科学省『外国語活動・外国語 研修ガイドブック』	文科省ウェブサイトより各自ダウンロード
2	前田安正『マジ文章書けないんだけど』大和書房	978-4-479-79586-5
3	文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』開隆堂	978-4-304-05168-5
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		